



大寒波～立春 ～ 暦の上では春 ～



1月23日(火)の夜から24日(水)の朝は、大雪や吹雪になる天気予報で、福岡市など九州北部を中心に大雪警報・暴風雪警報が発表されていました。とても心配していましたが、幸いにも、積雪することなく通常通りに幼稚園を開園することができました。

テニスコート横の花壇では、12月から咲いて春を待ち焦がれていた菜の花が暴風によって、根こそぎなぎ倒されていました。



登園した子ども達は、寒風をものともせず、元気に遊んでいました。大きな氷を発見した年長が、氷を見せてくれました。直径が約30cm、厚さが1cmくらいある大きな氷でした。容器に溜まっていた水が凍ったので、朝方の冷え込みが激しかったことを物語っていました。

そして、2月4日(日)に立春を迎えました。立春とは、暦上で春が始まる日であり、「二十四節季」の最初の節季にあたります。子どもには「まだまだ寒いけど、これから花が咲いたり生き物が出て来たりして、段々春になっていく」ことを伝え、春の訪れを感じてもらいたいものです。そのためには、天気の良い日に、子どもと一緒に公園などに散歩に出かけ、五感を使って春を探してみましょ。注意深く観察すると冬から春への季節の変化を感じることができます。立春の頃に観察できる動植物の一例を紹介します。

立春の頃に咲く花	梅、椿、スイセン フクジュソウ
立春の頃に見られる鳥	うぐいす、メジロ ツグミ、モズ
立春の頃に見られる虫	テントウムシ、カメムシ シジミチョウ、クマバチ

インフルエンザ警報 発令中

福岡県は、10週連続で「インフルエンザ警報」を出していて、福岡市では、定点当たりの患者数が特に多くなっているそうです。福岡市医師会の定例会見(2月7日)によると、下痢などの症状があるB型が増えていて、子どもを中心に感染が拡大し、保護者などの大人へ広がっているということです。

筑女大生の見学実習

1月29日(月)、30日(火)、31日(水)に筑紫女学園大学初等教育コース、幼児保育コースの1年生57名が3日間に分かれて見学実習にきました。

今回は、「子どもの発達の理解を深め、子どもとの関わり方、幼稚園教諭の役割や業務などを学ぶ」ことを目的に、具体的には、①子どもたちと遊び、かかわり、一緒にやってみて、子どもについての理解を深めること。②教諭が配慮している点(言葉かけ・環境整備等)を知り、役割や業務を学ぶことでした。

各クラスに配属された実習生たちが、子どもたちと一緒に、園庭を走り回っ



て遊んでいる姿が印象的でした。振り返りでは
 ・子ども達の運動量の多さにびっくりしました
 ・自分の体力がないことを実感しました
 ・子どもの心に響く先生たちの言葉かけが素晴らしいしかった
 など、心地よい疲労感に浸っている実習生たちの感想でした。

ICT体験 ～タブレット～

2月1日(木)に年長は、タブレットを使った体験会を実施しました。

さくら組は、「iPadでステンドグラスづくり」

うめ組は、「わくわくスコープ：小さな世界を見てみよう」

ゆり組は、「ジャングルの世界をデザインしよう」

4～5人グループに1台のタブレットを使って活動しました。子ども達は操作する順番等を決め、主体的にタブレットを扱っていました。

子どもの直接的な体験を基盤としたICT機器の活用により、子どもの体験が豊かになることを目指しています。

